

想定外の事態における リーダーのあり方

ダイコー株式会社 福山 隆

1970年 防大卒(14期)、陸上自衛隊入隊。

1995年 地下鉄サリン事件時、第32普通科連隊長として除染隊を指揮。

2005年 西部方面総監部幕僚長・陸将で退官。ハーバード大学上級客員研究員。

講演の狙い

- 「想定外事態におけるリーダーのあり方」
- 戦争・無差別テロ、災害・事故、パンデミック対応時の背景の一例
 - ⇒ ⇒ 皆様が将来遭遇する可能性のある非常事態の様相の認識

第32連隊の地位・役割等

<p>地位・役割</p>	<p>山手線内唯一の実動部隊(近衛連隊) 当時の部隊配置 1i:練馬、31i:朝霞、34i:板妻、1A:駒門 *反戦自衛官問題・・・COUP?</p>
<p>任 務</p>	<p>I 首都圏の防衛・警備、災害派遣 II 中央記念式典 III 迎賓館における国賓・高官等来国行事</p>
<p>編 成</p>	<p>別 示</p>
<p>隊員の質</p>	<p>能 力・知能指数:例(浅田次郎氏)</p>

第32普通科連隊の編成

定員:1135名

第32普通科連隊長

連	隊	幕	僚
1科長	人	事	
2科長	情	報	
3科長	作戦・運用		
4科長	兵站(装備)		

} ゴルフ
同行

212名

本部管理中隊

143名

重迫撃砲中隊

各195名

普通科中隊

4コ中隊

2. 事件発生

- **私(連隊長)の一番長い日**
- **化学科部隊の概要**
- **毒物(サリン)被害発生状況**

3月20日・私の一番長い日

1995年3月20日(月曜)は

・・・連隊統一代休(土・日訓練の代休)

時間	行動の概要
08:00	ゴルフスタート(東我孫子カントリークラブ)
08:30	事件発生
10:20	ハーフ終了(クラブハウスへ移動)
10:30	連隊長に対し、電話により状況報告(当直)
12:50	師団司令部第3部(防衛幹部)より 「 都知事からの災害派遣要請受 」の連絡
13:19	連隊長登庁(除染実施行動命令発令)
14:35	編成完結・連隊主体で出動
.....CHAOS.....

事件時配属された化学科部隊の概要

相馬原

12D化防隊

群馬県

栃

- 第101化学防護隊
- 第1師団化学防護隊
- 第12師団化学防護隊

各化学科部隊の位置

茨城県

埼玉県

大宮 101化防隊

千葉県

東京都

練馬

1D化防隊

市ヶ谷

32普連



霞ヶ関

20Km

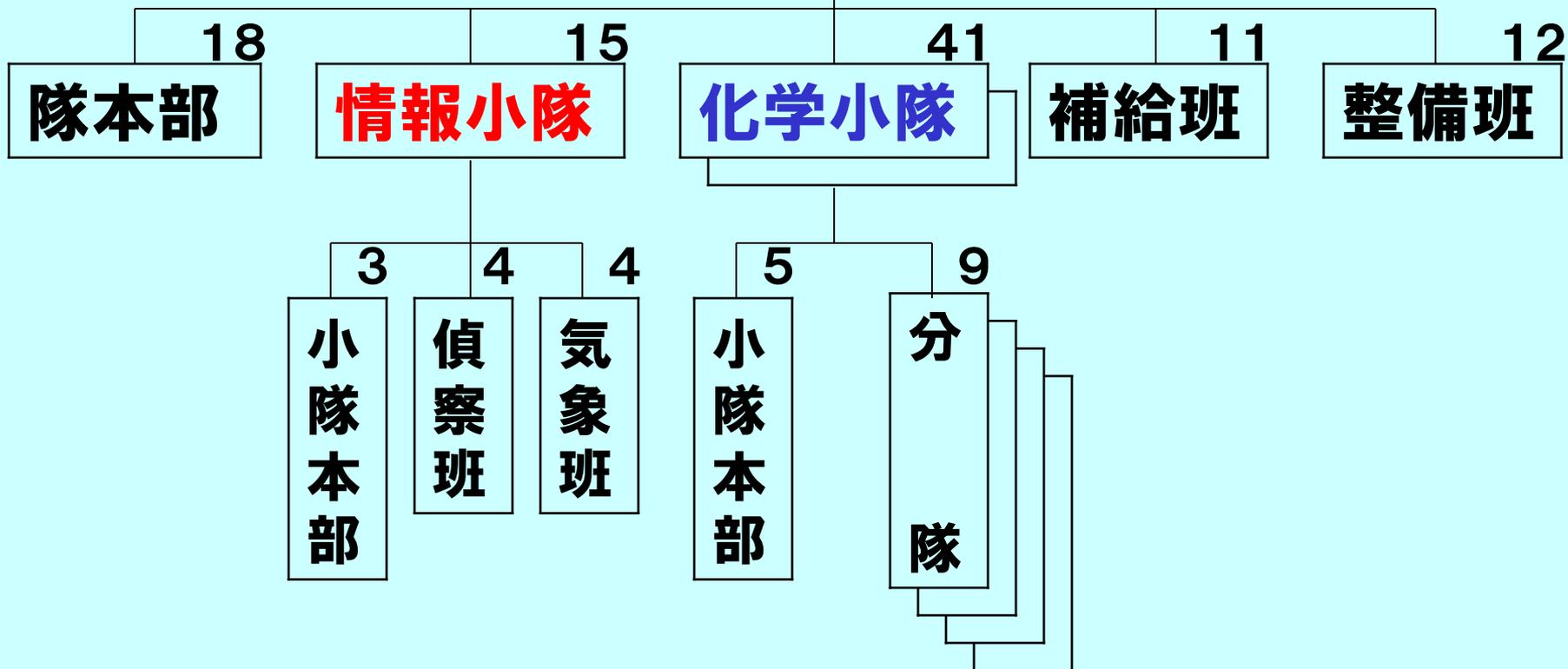
山梨県

神奈川県

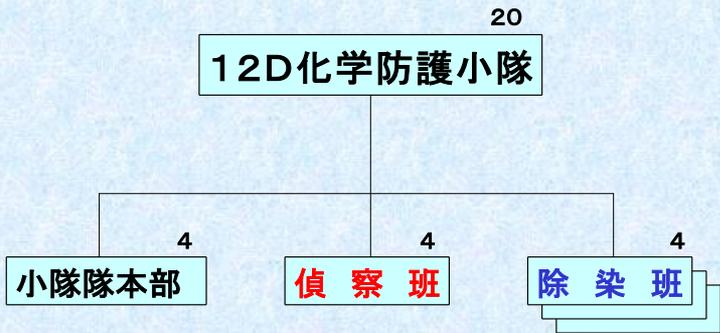
各化学科部隊の編成(化学防護隊)

138

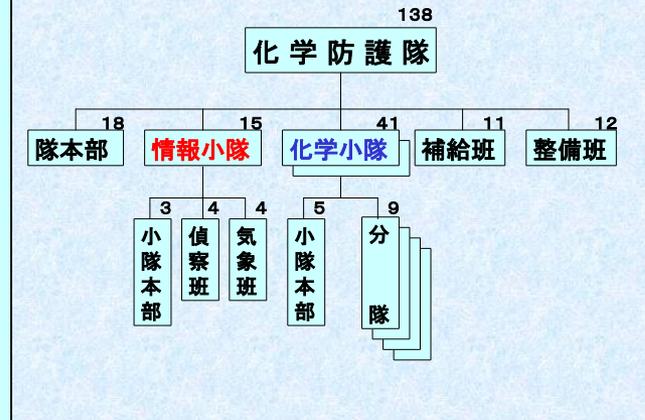
化学防護隊



各化学科部隊の編成(12師団化学防護小隊)



各化学科部隊の編成(化学防護隊)



各化学科部隊の編成(12師団化学防護小隊)



化学科部隊の置かれた立場

化学兵器禁止条約（CWC）

◆ 95年1月、日本国本条約に署名



実効性向上のため嚴重な査察制度を
定めた条約



陸自化学学校（大宮）が査察の対象
（化学科部隊への世論は向かい風）

◆ 95年3月地下鉄サリン事件発生

化 学 戦 对 処

区 分	内 容
世界の趨勢	<ul style="list-style-type: none"> ○第1次世界大戦で初めて使用されて以来、各国とも化学兵器の対処要領について研究 ○軍隊のみならず、警察・消防・自治体等が対処器材を装備
基本的な対処要	<p style="text-align: center;">検 知</p> <p>使用された化学剤の種類を特定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検知紙による検知 液状の神経剤等に触れると変色し、その存在を確認 ・ガス検知器 気状の神経剤等を吸収し検知 ・CR警報機 気状の神経剤及び放射線を自動的に検知
防 護	<p>化学剤等から身体を防護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護マスク 化学剤等が目及び呼吸器から体内へ侵入するのを防止 ・化学防護衣 身体を完全に覆い化学剤等の浸透・付着を防止 ・解毒治療(アトロピン注射) 神経剤に対する救急用の注射
除 染	<p>化学的な手段(中和反応)により汚染を除く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員:さらし粉 器材等:苛性ソーダ

神 經 剤 (サ リ ン) と は ？

神経剤の性状	神経組織に作用・ 筋肉収縮妨害作用
症 状	縮腫、呼吸困難、嘔吐、全身痙攣等
20℃における 状 態	無色の液体
に お い	純粹なものは無臭
作用の早さ	非常に速い
持 続 性	水と同じ
半致死量	液状1~1.7g/人(水10滴程度) 気状100mg・min/m ³ (殺虫剤一噴き程度)

毒物（サリン）被害発生状況図



丸の内線

山手線

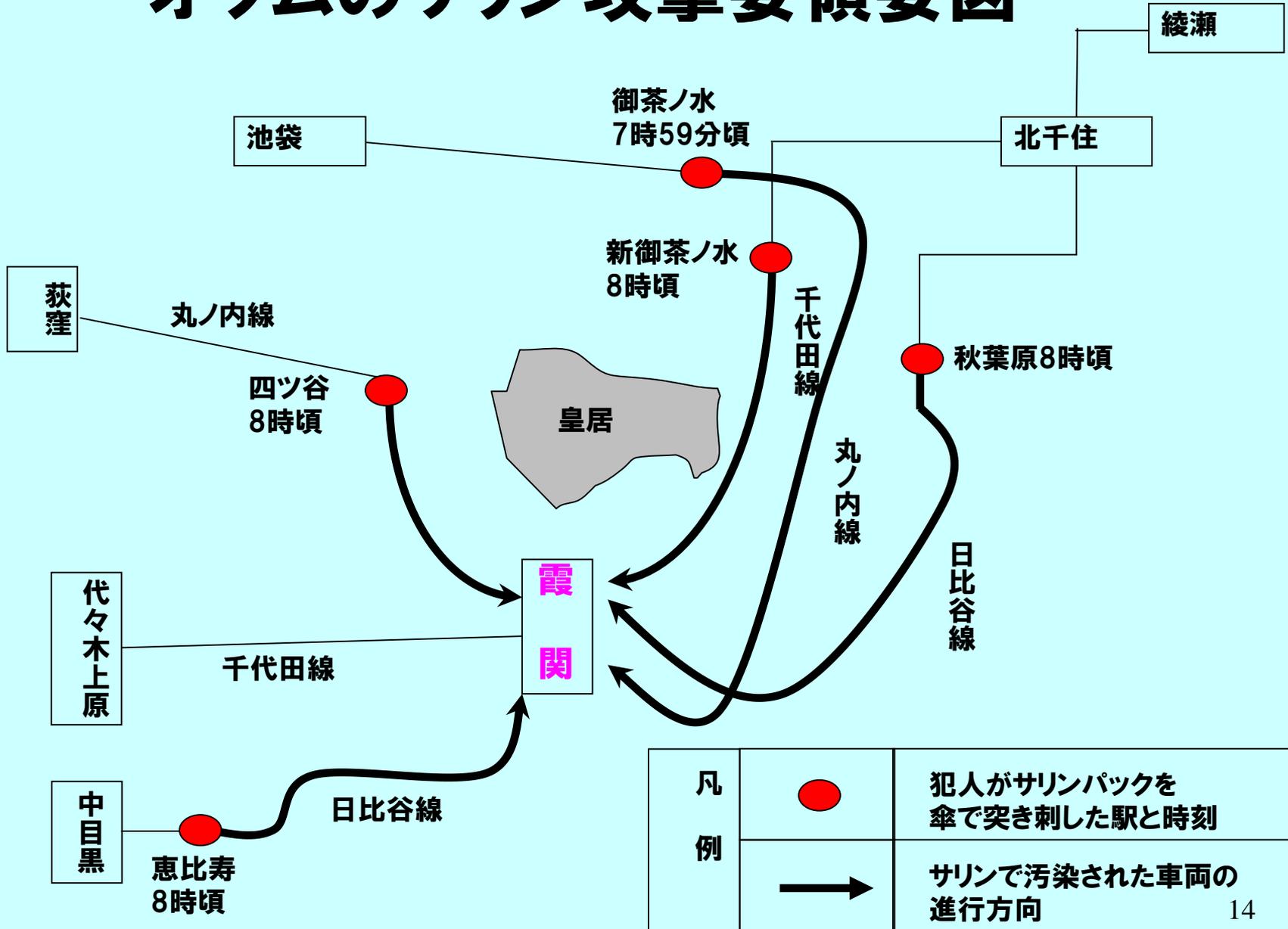
千代田線

日比谷線

凡例
毒: サリン

2km

オウムのサリン攻撃要領要図



3. 出動準備

～事件発生以降の対処行動の概要

- ゴルフ場から連隊指揮所まで
- 非常呼集状況
- 化学科部隊の移動
- 状況判断、決心

連隊長のゴルフ場～連隊指揮所帰隊までの行動

ゴルフ場～駐屯地までの帰隊経路図

東我孫子
カントリークラブ

市ヶ谷駐屯地

東京都

新宿

千葉

横浜

20km

非常呼集状況

定員:1135

(呼集人員226名)

第32普通科連隊長

本部:102名
実動:124名
合計:226名

212

本部管理中隊

呼集人員
83名

195

普通科1中隊

呼集人員
29名

195

普通科3中隊

呼集人員
39名

143

重迫撃砲中隊

呼集人員
30名

195

普通科2中隊

呼集人員
35名

195

普通科4中隊

呼集人員
10名

195

化学科部隊の移動

相馬原

12D化防隊

群馬県

栃木県

茨城県

埼玉県

大宮 101化防隊

千葉県

東京都

練馬

1D化防隊

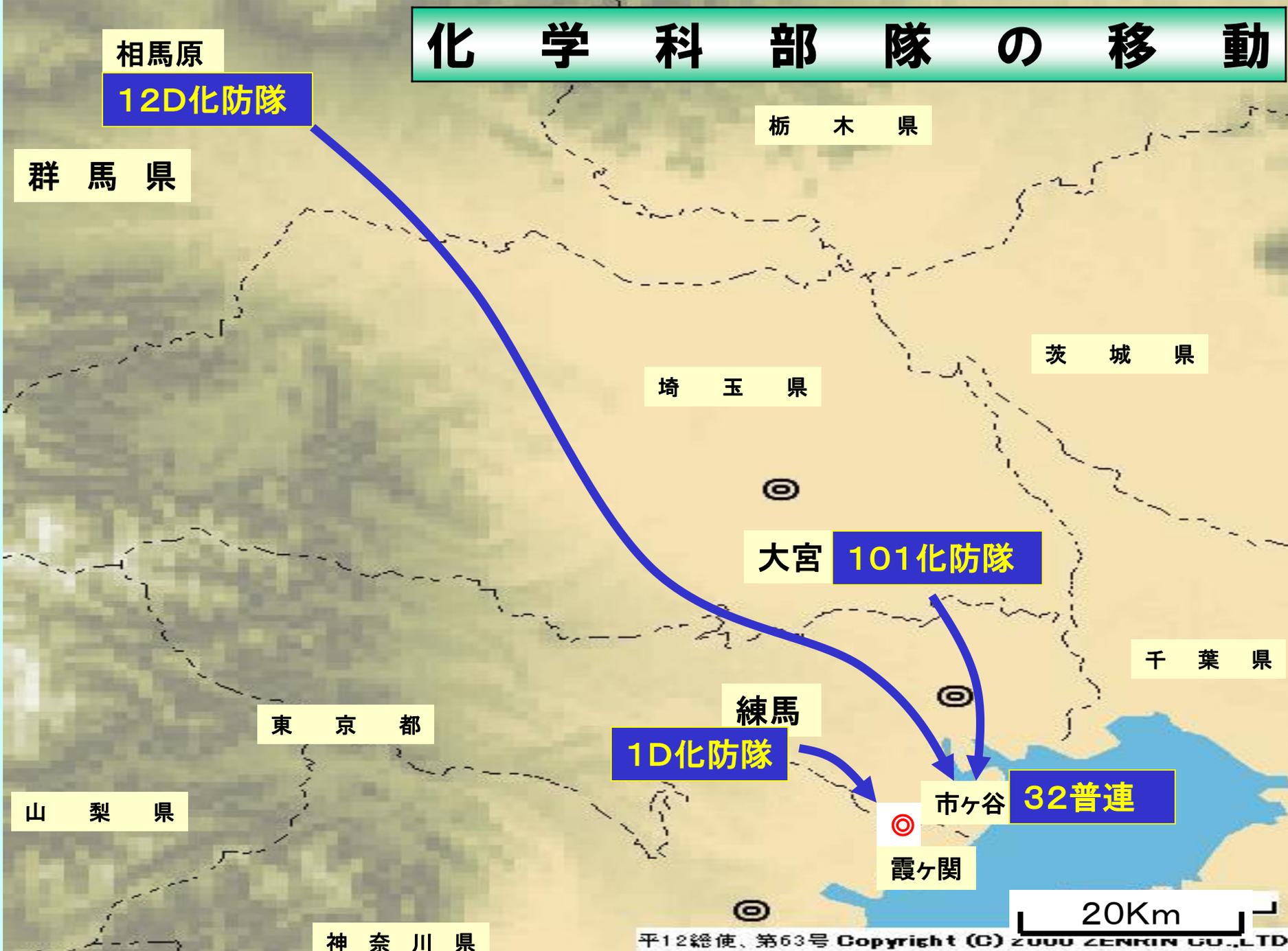
市ヶ谷 32普連

山梨県

霞ヶ関

神奈川県

20Km



状 況 判 断

行 動 方 針		狙 い
第1案	<p>配属された化学科部隊の到着を待って普通科連隊・化学科部隊合体して出動する案</p>	<p>○専門部隊の技術的な指導を受け、安全・確実に事態に対処 ＊タイミング上遅い</p>
第2案	<p>当初、普通科連隊のみで前進し対応、事後、化学科部隊を追求させる「分進合体」案</p>	<p>○迅速な部隊派遣により早急に現場へ進出、情報収集を実施して、事後の行動を準備 (消防、鉄道、警察) ↓ ・効率的除染(事前準備可能) ・国民に安心感を付与</p>

決心(採用案):第二案

- **迅速な自衛隊の出動による情報収集**
- **国民への安心感の付与を重視**
 - **関東大震災時都心を騎馬隊が行進**
〔現場に旗を立てよ、
テレビで今か今かの空気〕

4. 出陣と除染現場

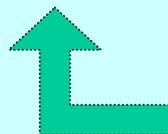
- 編成完結
- 現場における除染部隊の行動
- 現場におけるエピソード
- 事後の展開(対オウム)

出 動 時 の 編 成

第32普通科連隊

長 連 隊 長

32連隊派遣人員
幹部：32名
隊員：195名
合計：226名



101化防隊
44名



活動場所 (霞ヶ関～松戸) (日比谷～後樂園) (小伝馬町) (築地～霞ヶ関) (松₂戸)

編 成 完 結



現場へ前進



現場での検知



電車内の除染



電 車 内 の 除 染



人員の除染



現場におけるエピソード

1 現場におけるエピソード

- 初めてのパトカー先導
- 通信
- 築地駅における中村3佐の行動
- 事件翌日の連隊長の心情

2 その他

- 米国によるリサーチ

事後の展開（対オウム）

オウムに対する武力行使検討

- 密封命令書の受領
- 駐屯地防護の強化
- 警察官被害発生時の対応

5. 事件を経験した所見(まとめ)

○ **日本人は真剣に宗教と向き**

合うべきだ

「人はパンのみに生きるにあらず」

○ **21世紀は、宗教の時代**

1 銀座 霞ヶ関 中目黒 菊名方面
for Ginza, Kasumigaoka, Nakameguro, Kikuna

感謝

